

第6章

まとめと展望



10年間の時限立法である女性活躍推進法が制定されて5年となり、折り返しの年となった。「女性活躍促進」「働き方改革」など従前よりも女性が働きやすい制度も整備され、社会的にも女性が働くことについての理解も進んでいる。

一方で、女性自身が育児への専念を望む場合や働く意欲がある中で周囲から良い母であることも求められることがある。そうした狭間で様々な悩みを抱える女性がいることもまた事実である。

こうしたなか、今回の調査では、就業中の子育て女性のほうが、自尊感情や人生に対する満足度が高いということが明らかになった。希望しない女性にまで就業を強いるものではないが、本人が希望するのであれば、行政や民間団体、または地域において就業など女性の社会進出への支援は不可欠である。子育てと働くことは、全く異なることであり、二者択一ではなくいかに両立していけるかが重要である。

女性活躍推進のためには、行政などによる支援に加えて、一番身近にいる配偶者や職場の同僚などの理解や協力を得ずに進めることは非常に困難である。しかしながら、従前ほどではないが、社会的に未だ男女の役割分担意識や男性の育休取得への理解は進んでいないと言わざるを得ない。

育児期の女性のレジリエンスをさらに高めるためにも、女性だけではなく男性の意識についても実態を把握し、いかに総合的な施策を展開し、さらに充実を図っていくかが今後の課題である。



資料編

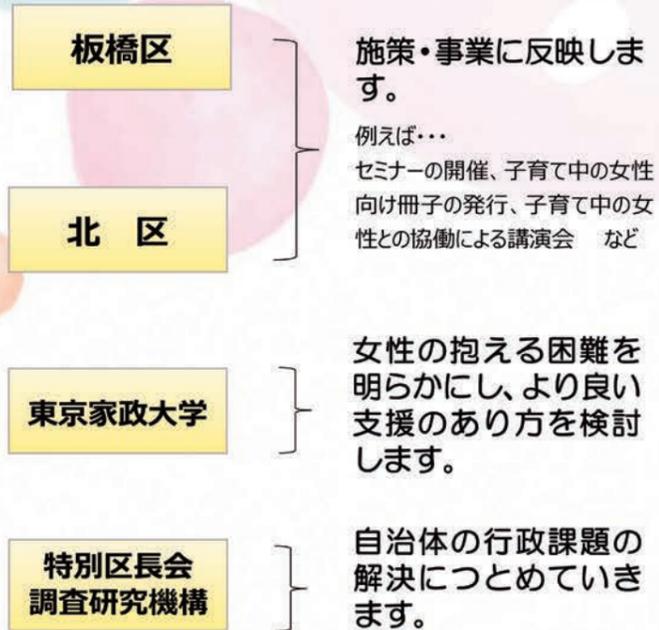
皆さまの回答は、データ分析を通して、このように活かされます！



お仕事や育児の
状況など



アンケート
回答



アンケート調査の回答にあたっての留意事項

- 1 回答は、必ずご本人様が記入をお願いします。また、調査票や封筒にお名前・ご住所は記入しないでください。
- 2 回答できる質問にのみお答えください。回答しないことによって、不利な扱いを受けることはありません。
- 3 各設問について、最も適当と思われる番号に○印をつける又はカッコ内に内容をご記入ください。
- 4 内容はすべて統計的に集計し、個人の考えが公表されることはありませんので、率直にお答えください。
- 5 お答えいただく調査内容は、平成31年4月1日を基準日として、お答えください。
- 6 記入いただきましたアンケート調査票は、お手数ですが**6月17日(月)**までに同封してあります返信用封筒(切手を貼る必要はありません)でお送りください。
- 7 このアンケート調査の集計作業については、株式会社エスピー研に委託していますので、返信用封筒のあて先が株式会社エスピー研となっている旨をご了承願います。

【お問い合わせ先】

- ・板橋区の方 板橋区 総務部 男女社会参画課 電話：03-3579-2486
- ・北区の方 北 区 総務部 多様性社会推進課 電話：03-3913-0161



特別区長会
調査研究機構

板橋区・北区・東京家政大学・特別区長会調査研究機構共同研究

みなさんの声をお聞かせください！

子育て中の女性の皆さまへ

子育て中の女性に向けたアンケート ご協力のお願い

皆さまは、「ジェンダーギャップ指数」という言葉をご存知でしょうか？

これは、毎年各国の政治、経済、健康、教育の4分野における、男女間の格差を指数にしてランキングで公表しているものです。最新のランキングでは、日本は「149 か国中110 位」で、7 つの先進国(G7)の中では最下位という結果になりました。特に経済と政治の

分野の順位が低く、女性の経済的自立(出産等で退職後の再就職等)が困難な、現在の日本の状況を映し出しています。

このような状況を踏まえ、国をはじめ、各自治体においても、男女間の格差をなくすための様々な施策が展開されています。



アンケートの目的

効果的かつ魅力的な事業展開を図っていくためには、より多くの女性の状況や育児に対する考え、抱える悩みや困難を把握することが大切であると考え、今回のアンケート実施に至りました。

皆さまからいただいたアンケート調査の結果は、板橋区・北区・特別区長会調査研究機構が行政課題の解決に向けた取組を進めていくうえで、大変貴重なデータとなります。日々の家事や育児でお忙しい中でのお願いとなりますが、一人でも多くの方にご回答いただければ幸いです。

アンケートの概要

板橋区内にお住まいで、現在子育て中の女性 1,840 名、北区内にお住まいで、現在子育て中の女性 1,160 名、を無作為抽出により選ばせていただきました。

集計結果は、子育て中の女性に対する取組等を進めていくための基礎資料として活用させていただきます。アンケートの結果は、2020年3月末頃に、特別区長会調査研究機構のホームページ等で公表いたします。

第1章 1
2
3
4

第2章 1
2
3

第3章 1
2
3

第4章 I
II
III
IV

第5章 1
2
3
4

第6章 資料編

子育て中の女性に向けて、いろいろな取組を進めています

板橋区



(板橋区男女社会参画課ホームページ)



女性のための再就職セミナー

出産等で一度退職した女性を対象に、再就職に向けたセミナーや、参加者同士の交流会を行うことで、再就職に前向きになり、第一歩を踏み出すためのきっかけを提供しています。

いたばしパパ月間

パートナーである男性（父親）が、家事・育児に積極的に参加する意識を持ってもらえるよう、毎年10月を「いたばしパパ月間」と位置づけ、様々な取組を行っています。



子育てママのための個別カウンセリング

子育て中の女性のために、個別カウンセリングを行っています。経験豊富な相談員が、皆さまの気持ちに寄り添ってお話を聞き、母親・妻以外の「私」について考えるお手伝いをします。



その他の取組

講座やセミナーを受講している間、区が派遣する保育者がお子さんをお預かりするなど、子育て中の女性が参加しやすい環境を整え、様々な取組を進めています。

北区



(北区スペースゆうホームページ)



みんなで育児応援プロジェクト

多世代が育児に関われる環境づくりを推進し、子育て支援の輪を広げていくため、「パパ応援プロジェクト」「ママ応援プロジェクト」「孫育て応援プロジェクト」の3つの事業に取り組み、それぞれを対象にした講座などを実施しています。



アプリ「きたハピモバイル」

最新の子育て支援情報の確認や、予防接種のスケジュール管理が簡単に設定できる、「きたハピモバイル」。

是非ご利用ください！

詳細はこちらのQRコードからご覧ください →



その他の取組

育児期の女性をはじめ、多様な生き方・働き方を応援するセミナー等を実施しています。その他、パートナーとの関係等、生きていくうえでの様々な問題の相談に応じています。



板橋区では「いたばしアクティブプラン 2020」を、北区では「第5次アゼリアプラン」を策定し、それぞれの施策の目標達成に向け、日々、取組を進めています。

そのような中、両区では、子育て中の女性への支援を、平成30年度から重点的に行っています。

第1章 1
2
3
4
第2章 1
2
3
第3章 1
2
3
第4章 I
II
III
IV
第5章 1
2
3
4
第6章 資料編

2019年度 子育て中の女性に向けたアンケート

本アンケート調査は、未就学児を育てている女性の育児状況や育児に対する思い、ワークライフバランスなどについて実態を把握し、育児期女性の支援に向けての知見を得ることを目的として行う調査です。

2019年度、板橋区・北区・東京家政大学・特別区長会調査研究機構は共同で、子育て中の女性を支援するための基礎的な研究に取り組み、この調査は研究の一環として実施するものです。

調査の回答は、行政の基礎資料として活用します。また、研究成果は報告書にまとめ特別区長会調査研究機構などのホームページで公表するほか、学会発表によって公表する予定です。

なお、本アンケートは、無記名でのアンケート調査であり、個人を特定できるような形での公表は行いません。また、個人情報の取り扱いを含め、十分な倫理的配慮を持って取り扱うことをお約束いたします。

ご記入に際してのお願い

1 アンケート調査票の記入方法

- ◆封筒の**あて名に表示のあるお子様のお母様**がご記入ください。
- ◆ご回答は、質問ごとの説明にしたがい、このアンケート調査票に**直接ご記入**ください。選択肢の中からあなた様ご自身のお考えに近い番号を選び、質問文に示された数の範囲内で**番号に〇印**をつけ、又は、**所定の欄に番号、数値、文章を記入**してください。

2 アンケート調査票の返送方法

- ◆ご記入いただいたアンケート調査票は、お手数ですが**6月17日(月)まで**に、同封しております返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。
- ◆返信用封筒に切手は不要です。また、**封筒にお名前・ご住所をご記入いただく必要はありません**。
- ◆このアンケート調査の集計作業については、**株式会社エスピー研**に委託していますので、返信用封筒のあて先が**株式会社エスピー研**となっている旨をご了承願います。

3 個人情報の取扱い及び回答の自由

- ◆本アンケート調査は**無記名**で行います。
- ◆調査の回答は統計処理の手法により、個人の特定をできない方法で集計を行います。統計処理を行ったデータについては、情報の安全管理を適正に行った上で、板橋区、北区、東京家政大学及び特別区長会調査研究機構で研究のために活用します。
- ◆本アンケート調査で得た情報は、東京家政大学が、論文執筆の基礎資料等として活用することがありますが、個人が特定されるような方法で用いることはありません。
- ◆本アンケート調査で得た情報は、本研究の目的以外に用いることはありません。
- ◆本アンケート調査は、協力の同意が得られた場合のみに実施し、協力者はいつでも回答を拒否することができます。協力を拒否することにより、不利益を被ることはありません。
- ◆上記について、ご理解・ご同意いただけた方は、次のページから始まる質問にお答えください。**アンケートの返送により、上記に同意したものとみなして取り扱いいたします。**

4 本調査に関する問い合わせ先

あなたの基本的なプロフィールについてお答えください。
設問ごとに記入または該当する数字に〇をつけてください。

設問1 あなたの年齢をお答えください。()歳

設問2 あなたの最終学歴をお答えください。在学中の場合は、最終とみなしてお答えください。

1. 中学卒業 3. 専修学校、各種学校卒業 5. 四年制大学卒業 7. その他
2. 高校卒業 4. 短期大学、高専卒業 6. 大学院修了 ()

設問3 同居家族は、あなたを含めて何人ですか。(単身赴任のご家族は、同居家族に含みません)

1. 2人 3. 4人 5. 6人 7. 8人以上
2. 3人 4. 5人 6. 7人 8. 同居している家族はいない ⇒ **設問5へ**

設問4 どなたと同居をしていますか。同居している方をすべてお選びください。

1. 配偶者またはパートナー 4. 自分の母 7. その他の家族
2. 子ども()人 5. 配偶者またはパートナーの父 (具体的に)
3. 自分の父 6. 配偶者またはパートナーの母

設問5 あなたの配偶者またはパートナーについてお答えください。

1. 配偶者またはパートナーはいない ⇒ **設問6へ**
2. 配偶者またはパートナーがいる ⇒ **設問5(1)～(4)へ**

(配偶者またはパートナーがいる人のみ)

(1) 配偶者またはパートナーの年齢をお答えください。()歳

(2) 配偶者またはパートナーの仕事の形態についてお答えください。

1. 会社経営者・役員 7. 公務員
2. 正社員・正職員 8. 自営業の家族従業者
3. パート・アルバイト(フルタイム) 9. 内職
4. パート・アルバイト(短時間勤務) 10. 無職 ⇒ **設問6へ**
5. 契約社員・嘱託社員 11. その他()
6. 自営業主・自由業者

(3) 配偶者またはパートナーの仕事の内容についてお答えください。

1. 人事・総務 6. 販売・窓口 11. 医療専門職
2. 経理 7. 研究開発 12. その他の専門・技術職
3. 企画・広報 8. 生産工程・労務作業 13. 教育職(幼・小・中・高)
4. 事務 9. 情報システム 14. 運輸
5. 営業 10. サービス(調理、接客等) 15. その他()

(4) 配偶者またはパートナーの1週間あたりの労働時間は、どれにあたりますか。

残業時間も含めてお答えください。

1. 10時間未満 3. 20～30時間未満 5. 40～50時間未満
2. 10～20時間未満 4. 30～40時間未満 6. 50時間以上

設問6 あなたと同居のお子様についてお答えください。
以下の表の項目に、記入または該当する数字に○をつけてください。
(同居のお子様5人以上の場合は、末子から4人についてお答えください。)

	上から1人目	2人目	3人目	4人目または末子
生年月(西暦)	()年 ()月	()年 ()月	()年 ()月	()年 ()月
健康状態 (最も近い状態 二つに○)	1. おおむね良好 2. 軽い持病あり 3. 重病・難病あり 4. 障がいあり 5. 回答しない			
在籍状況(現在)	1. 保育園 2. 幼稚園 3. 認定こども園 4. 小学校 5. その他 6. 在籍していない			

設問7 あなたの就業状況について、以下の項目にお答えください。
項目ごとに記入または該当する数字に一つ○をつけてください。

(1) あなたは現在、収入をとまなう仕事をしていますか。

- している ⇒ 設問7(2)～(4)へ
- している(産前・産後・育児休業中等) ⇒ 設問7(2)～(4)へ
- していない(求職中) ⇒ 設問7(5)～(8)へ
- していない(求職活動もしていない) ⇒ 設問7(5)～(8)へ

(2) (仕事をしている人のみ) その仕事は、どれにあたりますか。

- | | | |
|------------|------------------|-----------------|
| 1. 人事・総務 | 8. 販売 | 15. 看護職等の医療専門職 |
| 2. 経理 | 9. 研究開発 | 16. その他の専門・技術職 |
| 3. 企画・広報 | 10. 生産工程・労務作業 | 17. 教員(幼・小・中・高) |
| 4. 営業事務 | 11. 情報システム | 18. 運輸 |
| 5. その他一般事務 | 12. サービス(調理、接客等) | 19. その他() |
| 6. 営業 | 13. 介護職 | |
| 7. 窓口業務 | 14. 保育士 | |

(3) (仕事をしている人のみ) 仕事の形態はどれにあたりますか。

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 会社経営者・役員 | 6. 自営業主・自由業者 |
| 2. 正社員・正職員 | 7. 公務員 |
| 3. パート・アルバイト(フルタイム) | 8. 自営業の家族従業者 |
| 4. パート・アルバイト(短時間勤務) | 9. 内職 |
| 5. 契約社員・嘱託社員 | 10. その他() |

(4) (仕事をしている人のみ) あなたの1週間あたりの労働時間は、どれにあたりますか。残業時間も含めてお答えください。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 10時間未満 | 3. 20～30時間未満 | 5. 40～50時間未満 |
| 2. 10～20時間未満 | 4. 30～40時間未満 | 6. 50時間以上 |

⇒ 仕事をしている人は設問8にお進みください

(5) (仕事をしていない人のみ) あなたが最後に就いていた仕事は、どれにあたりますか。

- | | | |
|------------|------------------|-----------------|
| 1. 人事・総務 | 8. 販売 | 15. 看護職等の医療専門職 |
| 2. 経理 | 9. 研究開発 | 16. その他の専門・技術職 |
| 3. 企画・広報 | 10. 生産工程・労務作業 | 17. 教員(幼・小・中・高) |
| 4. 営業事務 | 11. 情報システム | 18. 運輸 |
| 5. その他一般事務 | 12. サービス(調理、接客等) | 19. その他() |
| 6. 営業 | 13. 介護職 | 20. 仕事に就いたことがない |
| 7. 窓口業務 | 14. 保育士 | |
- └─▶ 設問9へ

(6) (仕事をしていない人のみ) あなたが、最後に従事した仕事の就業形態はどれにあたりますか。

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 会社経営者・役員 | 6. 自営業主・自由業者 |
| 2. 正社員・正職員 | 7. 公務員 |
| 3. パート・アルバイト(フルタイム) | 8. 自営業の家族従業者 |
| 4. パート・アルバイト(短時間勤務) | 9. 内職 |
| 5. 契約社員・嘱託社員 | 10. その他() |

(7) (仕事をしていない人のみ) あなたが最後に従事した仕事を辞めたのはいつですか。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 半年以内 | 4. 2年1ヶ月～3年前 | 7. 5年1ヶ月～6年前 |
| 2. 7ヶ月～1年前 | 5. 3年1ヶ月～4年前 | 8. 6年1ヶ月以上前 |
| 3. 1年1ヶ月～2年前 | 6. 4年1ヶ月～5年前 | |

(8) (仕事をしていない人のみ) あなたが最後に従事した仕事を辞めたのはなぜですか。

以下から三つまで選んでください。

- 家事・育児に専念するため、自発的に辞めた
- 家族の転勤のため
- 家族の要望で
- 自分の体調不良のため
- 子どもの体調不良のため
- 残業等があり、時間的に家庭との両立が不可能だったため
- 職場が家庭との両立に無理解だったため
- 子どもの預け先がないため
- 勤務を続けてもキャリアの進展が見込めないため
- やりがいがないため
- 解雇・退職勧告があったため
- その他()

設問 14

今のあなた自身についてお答えください。以下の項目について5段階でもっとも当てはまるとする数字に一つ〇をつけてください。

	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
(1) 私は、自分に満足している	1	2	3	4	5
(2) 私は、自分がだめな人間だと思う	1	2	3	4	5
(3) 私は、自分には見どころがあると思う	1	2	3	4	5
(4) 私は、たいいていの人がやれる程度には物事ができる	1	2	3	4	5
(5) 私には得意に思うことがない	1	2	3	4	5
(6) 私は、自分が役立たずだと感じる	1	2	3	4	5
(7) 私は、自分が少なくとも他人ぐらいは価値のある人間だと思う	1	2	3	4	5
(8) もう少し自分を尊敬できたらと思う	1	2	3	4	5
(9) 自分を失敗者だと思いがちである	1	2	3	4	5
(10) 私は、自分自身に対して、前向きな態度をとっている	1	2	3	4	5

設問 15

以下の項目について、あなた自身がどの程度あてはまるか選んでください。項目ごとに7段階でもっとも当てはまるとする数字に一つ〇をつけてください。

	まったく思わない	そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	少しそう思う	そう思う	非常にそう思う
(1) 大体において、私の人生は理想に近い	1	2	3	4	5	6	7
(2) 私の人生は、素晴らしい状態である	1	2	3	4	5	6	7
(3) 私は、私の人生に満足している	1	2	3	4	5	6	7
(4) 私は、これまでの人生の中で、こうしたいと思った重要なことはなしとげてきた	1	2	3	4	5	6	7
(5) 人生をもう1度やりなおせたとしても、変えたいことはほとんどない	1	2	3	4	5	6	7

設問 16

今のあなた自身についてお答えください。以下の項目について、5段階でもっとも当てはまるとする数字に一つ〇をつけてください。

	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
(1) どんなことでも、たいいてい何とかなりそうな気がする	1	2	3	4	5
(2) 昔から、人との関係をとるのが上手だ	1	2	3	4	5
(3) 自分の性格についてよく理解している	1	2	3	4	5
(4) たとえ自信がないことでも、結果的に何とかなると思う	1	2	3	4	5
(5) 自分から人と親しくなることが得意だ	1	2	3	4	5
(6) 嫌な出来事があったとき、今の経験から得られるものを探す	1	2	3	4	5
(7) 自分の考えや気持ちがよくわからないことが多い	1	2	3	4	5
(8) 自分は体力がある方だ	1	2	3	4	5
(9) 努力することを大事にする方だ	1	2	3	4	5
(10) 人の気持ちや、微妙な表情の変化を読み取るのが上手だ	1	2	3	4	5
(11) つらいことでも我慢できる方だ	1	2	3	4	5
(12) 決めたことを最後までやりとおすことができる	1	2	3	4	5
(13) 思いやりを持って人と接している	1	2	3	4	5
(14) 困難な出来事が起きても、どうにか切り抜けることができると思う	1	2	3	4	5
(15) 交友関係が広く、社交的である	1	2	3	4	5
(16) 人と誤解が生じたときには積極的に話をしようとする	1	2	3	4	5
(17) 嫌な出来事が、どんな風に自分の気持ちに影響するか理解している	1	2	3	4	5
(18) 嫌な出来事があったとき、その問題を解決するために情報を集める	1	2	3	4	5
(19) 嫌なことがあっても、自分の感情をコントロールできる	1	2	3	4	5
(20) 自分は粘り強い人間だと思う	1	2	3	4	5
(21) 他人の考え方を理解するのが比較的得意だ	1	2	3	4	5

第1章
1
2
3
4
第2章
1
2
3
第3章
1
2
3
第4章
I
II
III
IV
第5章
1
2
3
4
第6章
資料編

設問 17

今のあなた自身についてお答えください。以下の項目について、5段階でもっとも当てはまると思う数字に一つ〇をつけてください。

	まったく違う	違う	どちらともいえない	そのとおり	まったくそのとおり
(1) 私は、子育てに充実感を感じていません	1	2	3	4	5
(2) 私は、育児をすることに満足感を感じていません	1	2	3	4	5
(3) 私は、育児に関心があります	1	2	3	4	5
(4) 私は、子どもとスキンシップがとれていません	1	2	3	4	5
(5) 私は、子どもと関わる時間を大事にしていません	1	2	3	4	5
(6) 私は、子どもと関わる時間を充分に取りたいと思います	1	2	3	4	5
(7) 私は、育児をすることに喜びを感じています	1	2	3	4	5
(8) 私は、親としての充実感を感じていません	1	2	3	4	5
(9) 私は、子どもとの関係に満足していません	1	2	3	4	5
(10) 私は、親としてのだけの自分をむなしと思います	1	2	3	4	5
(11) 私は、子どもによく話しかけています	1	2	3	4	5
(12) 私は、子どもとコミュニケーションがとれています	1	2	3	4	5
(13) 子どもは、いつも私がいやがることをします	1	2	3	4	5
(14) 私は、子どもの欲求がよくわかります	1	2	3	4	5
(15) 私は、子どもの性格がわかります	1	2	3	4	5
(16) 私は、子どもの個性がわかります	1	2	3	4	5
(17) 私は、子どもの様子がよくわかります	1	2	3	4	5
(18) 私は、現在の子どもの発育がよく分かります	1	2	3	4	5
(19) 私は、子どものこれからの発育の様子を想像することができます	1	2	3	4	5
(20) 私は、子どもを寝かしつけることがうまくできます	1	2	3	4	5
(21) 私は、子どもの気持ちがわかりません	1	2	3	4	5
(22) 私は、子どもに喜びを与えていると思います	1	2	3	4	5
(23) 私は、子どもの食事（授乳）の世話がうまくできます	1	2	3	4	5
(24) 私は、子どもに信頼されていると思います	1	2	3	4	5
(25) 私は、親として以外の自分は充実していると思えません	1	2	3	4	5

(26) 私は、親として以外の自分に満足していません	1	2	3	4	5
(27) 私は、社会の中での自分の役割がわかります	1	2	3	4	5
(28) 私は、社会的に必要とされていると思います	1	2	3	4	5
(29) 私は、親として以外の自分自身に対して前向きではありません	1	2	3	4	5
(30) 私の生き方は、自分で納得いくものだと思います	1	2	3	4	5
(31) 私は、自分なりの生き方を主体的に選んでいると思えません	1	2	3	4	5
(32) 私は、自分自身のことを信頼しています	1	2	3	4	5
(33) 私は、日々の生活をうまくやっていく自信がありません	1	2	3	4	5

設問 18

次の考え方は、**あなたの生きる社会において、どの程度受け入れられている**と思いますか。5段階でもっとも当てはまると思う数字に一つ〇をつけてください。

	ぜんぜんそう思われていない	あまりそう思われていない	どちらともいえない	まあそう思われている	まったくそのとおりだと思われる
(1) 女性は、家事や育児をしなければならないから、フルタイムで働くよりパートタイムで働いたほうがよい	1	2	3	4	5
(2) 女性の居るべき場所は家庭であり、男性の居るべき場所は職場である	1	2	3	4	5
(3) 主婦が仕事を持つと、家族の負担が重くなるのでよくない	1	2	3	4	5
(4) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てることが非常に大切である	1	2	3	4	5
(5) 主婦が働くことと夫をないがしろにしがちで、夫婦関係にひびがはいりやすい	1	2	3	4	5
(6) 家事や育児をしなければならないから、女性はあまり責任の重い、競争の激しい仕事をしないほうがよい	1	2	3	4	5
(7) 娘は将来主婦に、息子は職業人になる事を想定して育てるべきである	1	2	3	4	5
(8) 子育ては女性にとって一番大切なキャリアである	1	2	3	4	5
(9) 結婚生活の重要事項は夫が決めるべきである	1	2	3	4	5
(10) 結婚後、妻は必ずしも夫の姓を名乗る必要はなく、旧姓で通してもよい	1	2	3	4	5
(11) 経済的に不自由でなければ、女性は働かなくてもよい	1	2	3	4	5
(12) 女性が、社会的地位や賃金の高い職業を持つと結婚するのがむずかしくなるから、そういう職業を持たないほうがよい	1	2	3	4	5

第1章
1
2
3
4

第2章
1
2
3

第3章
1
2
3

第4章
I
II
III
IV

第5章
1
2
3
4

第6章
資料編

(13) 女性の人生において、妻であり母であることも大事だが、仕事をすることもそれと同じくらい重要である	1	2	3	4	5
(14) 女性は子どもが生まれても、仕事を続けたほうがよい	1	2	3	4	5
(15) 家事は男女の共同作業となるべきである	1	2	3	4	5

設問 19 次の考え方は、あなた自身の考え方にどの程度あてはまりますか。5段階でもっとも当てはまるとする数字に○をつけてください。

	ぜんぜんそう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	まあそう思う	まったくとおもう
(1) 女性は、家事や育児をしなければならないから、フルタイムで働くよりパートタイムで働いたほうがよい	1	2	3	4	5
(2) 女性の居るべき場所は家庭であり、男性の居るべき場所は職場である	1	2	3	4	5
(3) 主婦が仕事を持つと、家族の負担が重くなるのでよくない	1	2	3	4	5
(4) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てることが非常に大切である	1	2	3	4	5
(5) 主婦が働くとき夫をないがしろにしがちで、夫婦関係にひびがはいりやすい	1	2	3	4	5
(6) 家事や育児をしなければならないから、女性はあまり責任の重い、競争の激しい仕事をしないほうがよい	1	2	3	4	5
(7) 娘は将来主婦に、息子は職業人になる事を想定して育てるべきである	1	2	3	4	5
(8) 子育ては女性にとって一番大切なキャリアである	1	2	3	4	5
(9) 結婚生活の重要事項は夫が決めるべきである	1	2	3	4	5
(10) 結婚後、妻は必ずしも夫の姓を名乗る必要はなく、旧姓で通してもよい	1	2	3	4	5
(11) 経済的に不自由でなければ、女性は働かなくてもよい	1	2	3	4	5
(12) 女性が、社会的地位や賃金の高い職業を持つと結婚するのがむずかしくなるから、そういう職業を持たないほうがよい	1	2	3	4	5
(13) 女性の人生において、妻であり母であることも大事だが、仕事をすることもそれと同じくらい重要である	1	2	3	4	5
(14) 女性は子どもが生まれても、仕事を続けたほうがよい	1	2	3	4	5
(15) 家事は男女の共同作業となるべきである	1	2	3	4	5

設問 20 次の言葉に続く文章を、思いっぴくままにお書きください。正解はありませんので、あまり考えこまずに、頭に浮かんだものをお書きください。

- 母親である私は_____。
- 母親でない私は_____。
- 母親として生きていくために_____。
- 今の自分を何か一つ変えられるとしたら_____。
- 私が自信を持てる瞬間は_____。

設問 21 託児付きで実施してほしい、参加したい講座を以下から選択し、該当する数字に○をつけてください（複数回答可）。

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1. 起業・就職に関する講座 | 8. 怒りの感情をコントロールする方法を学ぶ講座 |
| 2. 災害時の対応等に関する講座 | 9. 自分の時間をつくる講座 |
| 3. マネープラン 家計管理に関する講座 | 10. 海外のライフスタイルを学ぶ講座 |
| 4. ライフプラン 自分の未来を考える講座 | 11. コミュニケーション力を高める講座 |
| 5. パソコンのスキルアップ講座 | 12. ワークショップなどがある仲間づくりができる講座 |
| 6. シングルマザー（離婚の悩みなど）講座 | 13. ドメスティックバイオレンスに関する講座 |
| 7. 仕事と子育ての両立（ワーク・ライフ・バランス）講座 | 14. その他（具体的に_____） |

設問 22 パートナーに参加してもらいたい講座を以下から選択し、該当する数字に○をつけてください（複数回答可）。

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 子育てに積極的になる講座 | 10. パパの気持ちをリラックスさせる講座 |
| 2. 料理など家事（実技）を学ぶ講座 | 11. 男女平等（男女共同参画）の基本を学ぶ講座 |
| 3. 育児復帰に向けた家族の準備などを学ぶセミナー | 12. ドメスティックバイオレンス・ハラスメントに関する講座 |
| 4. 家事・育児などの分担を考えるセミナー | 13. ワークショップなどがある仲間づくりができる講座 |
| 5. 仕事と子育ての両立（ワーク・ライフ・バランス）講座 | 14. その他（具体的に_____） |
| 6. 起業・就職に関する講座 | |
| 7. 子どもとの遊び方を学ぶ講座 | |
| 8. パートナー（ママ）が喜ぶ家事のポイントを学ぶ講座 | |
| 9. コミュニケーション力を高める講座 | |

設問 23 講座などの情報はどの手段で発信してほしいですか。該当する数字に○をつけてください（複数回答可）。

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1. 区広報紙 | 5. チラシ |
| 2. 区ホームページなどインターネット | 6. Twitter・FacebookなどのSNS |
| 3. メールマガジン | 7. その他（具体的に_____） |
| 4. 子育てアプリ | |

アンケートは以上です。
ご協力いただき、ありがとうございました。

第1章 1
2
3
4
第2章 1
2
3
第3章 1
2
3
第4章 I
II
III
IV
第5章 1
2
3
4
第6章 資料編

研究体制（◎はリーダー） ※は調査研究協力員

◎	東京家政大学女性未来研究所副所長	並木 有希
	東京家政大学短期大学部保育科准教授	平野 順子
	東京家政大学人文学部心理カウンセリング学科講師	平野 真理
	東京家政大学女性未来研究所	廣田 愛海
	板橋区総務部男女社会参画課長	家田 彩子
	板橋区総務部男女社会参画課男女平等推進係	長島 環 ※
	板橋区総務部男女社会参画課男女平等推進係	小林 成貴 ※
	北区総務部多様性社会推進課長	茅根 薫
	北区総務部多様性社会推進課多様性社会推進主査	桑名 重行 ※
	北区総務部多様性社会推進課	阿部 一希 ※
	千代田区地域振興部国際平和・男女平等人権課長	武笠 真由美
	文京区総務部ダイバーシティ推進担当課長	高橋 肇
	豊島区総務部男女平等推進センター所長	佐々木 美津子

活動実績

活動項目	実施日・期間	内容
第1回研究会	平成31(2019)年 4月24日	メンバー紹介、アンケート関係の確認、報告書構成案の検討 等
第2回研究会	令和元(2019)年 5月23日	報告書構成案の検討 等
区側研究会	7月3日	区側報告書構成案の検討 等
第3回研究会	7月9日	アンケート調査経過報告、東京家政大学の研究調査報告、各区の報告書の分担 等
第4回研究会	9月12日	東京家政大学のアンケート研究調査報告、各区の報告書の骨子 等
第5回研究会	10月3日	報告書の検討 等
第6回研究会	11月6日	報告書の検討 等
区側研究会	12月4日	報告書の検討 等
第7回研究会	12月12日	報告書の検討 等
第8回研究会	令和2(2020)年 1月8日	報告書の検討 等
第9回研究会	2月28日	報告会の検討、次年度アンケート調査の検討 等

アンケート調査委託

株式会社エスピー研

令和元年度

特別区長会調査研究機構調査研究テーマ

テーマ名	提案区等
特別区が取り組んでいる施策の効果が日本全体に与える影響	港
基礎自治体におけるテレワークの活用と実現方法	品川
AI等の先端技術を活用した業務効率化 ～電子自治体への移行に向けて～	大田 葛飾
特別区のスケールメリットを生かした業務効率化	渋谷
「持続可能な開発のための目標（SDGs）」に関して、 特別区として取り組むべき実行性のある施策について	荒川
自尊感情とレジリエンスの向上に着目した、育児期女性に対する 支援体制構築に向けての基礎研究	板橋
大局的に見た特別区の将来像	江戸川
特別区における小地域人口・世帯分析及び壮年期単身者の現状と課題	基礎調査

以上の8テーマを各テーマ別の報告書（計8冊）にまとめ発行しています。
各報告書は、特別区長会調査研究機構ホームページで閲覧できます。

特別区長会調査研究機構

検索

CLICK!



令和元年度 調査研究報告書

自尊感情とレジリエンスの向上に着目した、育児期女性に対する 支援体制構築に向けての基礎研究

令和2年3月30日発行

発行：特別区長会調査研究機構 事務局：公益財団法人特別区協議会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-5-1 TEL：03-5210-9053 Fax：03-5210-9873

※本書の無断転載・複製は、著作権法上での例外を除き禁じられています。

印刷所：図書印刷株式会社